

広報

たまたみ

6

2014 月号

No. 529

平成26年6月10日

- 貝見線で出かけよう!!.....2~3
国内第1号 軽水力発電機進水式.....4~5
子ども読書活動推進計画策定.....6~7
国道252号再開通 他.....8~9
町の話題.....10~11

今月の表紙

5月、坂田地区内は無数のスイセンの花で埋め尽くされました。坂田地区の皆さんが植えたスイセンは、沿道だけでなく土手にまで綺麗な花を咲かせそこを通る人の目を楽しませました。



只見線で出かけよう!!

桜が満開を迎えた只見のゴールデンウィーク。只見駅を降りる方の多くが只見線の緑色の車輪と桜を写真に収めていました。只見駅から会津川口駅間はいまだに復旧の見通しが立たない状況が続いていますが、只見線が無くなってしまったらどうなるのでしょうか？

只見線が無くなってしまったら

全国的な過去の事例を参考にすると、鉄道が無くなることで様々な問題が起こる事が考えられます。

「紅葉の美しい鉄道路線ベストテン」の第1位にも選ばれた鉄道ファンに有名な只見線は、重要な観光資源であり只見線が走らなくなれば観光客は減り、学生や高齢者などの運転免許を持たない方の交通手段の選択肢も減ります。また、災害時道路が寸断された場合の代替交通手段も無くなります。

一度寸断された路線は、さらに鉄道区間や運行ダイヤの縮小が繰り返され、鉄道施設だけが残されると管理が行われずに景観や住環境も荒廃することが考えられます。

代行バスを利用して

現在、不通区間は代行バスが運行されていますが、その利用状況がJRの復旧の判断材料とされています。

豪雨災害後、代行バス区間の利用状況は1日当たり約44・3人となっていますが、災害前には49人が利用していました。1日あたり約5人減っているという状況で、今年の9月末までに以前の利用状況まで利用者数を回復させることが当面の課題となっています。

この課題を解決するため、町民の皆さんには出来る範囲で結構ですので代行バスを利用して頂ければと考えています。日常生活や、家族や仲間と旅行に出かける際に工夫をして代行バスを利用する事で只見線の復旧に近づきます。

町や関係団体では、只見線、特に代行バスの利用者が増えるように次のような取り組みを行っています。只見線を活用する活動やイベントに補助する事業もありますのでぜひご活用下さい。

●「つなぐれ つなぐれ 只見線」応援事業

JR只見線の不通区間の再開通及び利用促進を図るため、町内の老人会、婦人会、商工観光団体、集落、学校、企業、ボランティア団体などや、この事業の目的に賛同する5名以上で結成する新たな団体などに1事業原則10万円を上限に補助を行います。

只見線のPR活動やイベント、子ども会や老人会、会社の社員旅行などで只見線を使う事業が補助対象となります。詳しくは総合政策課までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ・申込先 只見町役場 総合政策課 地域振興係 ☎82-5220】



▲代行バスは只見～川口駅間を1日7便運行します

●JR只見線利用促進実行委員会事業

JR只見線利用促進実行委員会を立ち上げ、次のような事業を行う事を決めました。

〈只見線車輛ラッピング事業〉

車輛と代行バスにラッピングをおこない、乗ってみたいし見ても楽しい只見線にします。

〈観光アテンダント育成事業〉

只見線の魅力を多くの人に知ってもらうため、代行バス内に観光案内や乗客のお世話を行う観光アテンダントを配置します。

※この他にも様々な事業を予定しており、実施内容や時期が決まり次第お知らせします。

●只見線を利用したイベント

お見合いイベントや、駅前イベント、各種ツアーなどを行います。

●只見線応援団の募集

福島県では只見線応援団を募集しています。

この応援団には、只見線を愛し復旧復興を目指す個人や法人等の団体なら、どなたでも参加でき、加入特典もありますのでぜひ応援団にご加入下さい。

詳しくは下記までお問い合わせ願います。

【お問い合わせ・申込先 福島県 生活環境部 生活交通課 ☎024-521-7158】

●役場職員も代行バスを利用します

役場職員も出勤や出張時に工夫して代行バスを利用するように取組んでいきます。

また、休日等のプライベートで旅行に出かける際も可能な限り利用するよう取組んでいきます。

▶新緑の六十里を走る只見線。只見駅～会津川口駅間の美しい景色を写真に収める日が早く来ることを願います。



国内第一号機

軽水力発電機進水式



▲関係者によるテープカット

5月13日、只見字岩崎の民宿いわさき荘前水路にて、軽水力発電機（カッパ）の国内第一号となる進水式を行いました。進水式には町関係者と軽水力発電機を開発した茨城製作所の社員らが出席し、「地元の水資源を活用しよう」と、小水力発電を検討してきたが適地が見つからなかった。今回の軽水力発電は、何の工事をする事無く設置でき、自然を壊さないのでユネスコエコパークの考えにあっている。」と目黒町長があいさつをすると茨城製作所の菊池社長は「自然と人との共生。エネルギーに対する一つの考え方として、軽水力発電機を導入された只見町には新たな一歩を進んで欲しい。」と述べられ、その後只見町での軽水力発電機国内第一号を祝し関係者によるテープカットを行いました。



軽水力発電機「cappa (カッパ)」

従来水力発電には不可欠だった「落差」を必要とせず「水の流れ」だけで電気を発電。57kgと軽量なため大人2人で設置ができ、水に沈めるだけで発電する。



この日の進水式では、発電機を只見用水に入れ発電した電気でミニSLの走行や携帯電話・スマートフォンの充電など発電を確認出来るデモンストラーションを行いました。その後、茨城製作所の社員から発電機の機能や効果など技術的な解説がされました。

◀発電した電気で勢いよくミニSLが走行



▲小型なので大人2人で設置が出来ます

災害時の電力確保

この軽水力発電機を設置する場合、重機等による工事の必要は無く右の写真のように大人2人で持ち運ぶことができ、水流に沈めるだけで電気を発電します。

自然エネルギーには風力や太陽光などもありますが悪天候時には発電電力は少なくなってしまう。しかし、軽水力発電機の場合は天候の影響が少なく、一定以上の発電が期待され

ます。

小さな発電機なのでその発電量は限られていますが、非常時に必要な情報と明かりを確保できる電気は充分に発電することができます。

また、災害時以外にもインフラが整備されていない場所での防獣電気柵用電源などとしての利用も考えられます。

子どもたちの学習教材として

軽水力発電機は、プロペラが回ると発電するという分かりやすい構造なので、子供たちが自然エネルギーを理解するための教材としてとても適しています。このことから、子どもたちへの再生可能エネルギー学習にも活用をしていく予定です。

また、人と自然との共生を目指すユネスコエコパークの考え方に非常に適した発電機なので、今後只見町が行うエコへの取り組みにも大いに役立つ事が期待されます。



▲昨年の夏に行った環境学習のようす

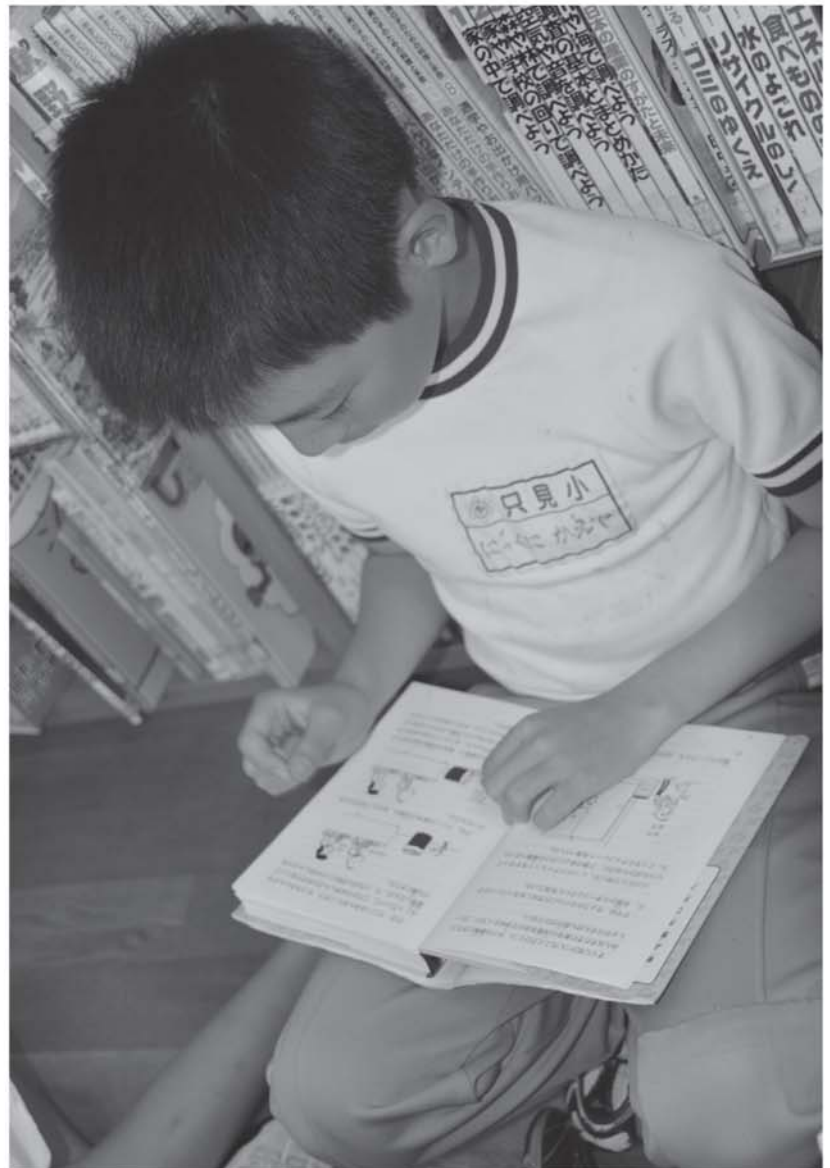
読書を通じて豊かな人間性を育む 子ども読書活動推進計画

読書によって、子どもは新しい世界を知り、新しい自分を発見していく事ができます。さらに、良い本と出会うことで多くのことを学ぶとともに、豊かな人間性も育まれます。しかし現在、子どもの読書離れが進んでいると言われています。

読書活動の現状

平成24年度に福島県教育委員会で実施した「読書に関する調査」によると、1カ月間の読書冊数は小学生では8冊以上読んでいる児童が50%程度となつていますが、中学生・高校生では0〜2冊程度となつており、年齢が上がるにつれて読書離れが進んでいる状況が見られます。

教育委員会が町内の保育所、小・中学校、高校の保護者を対象に、家庭における子どもの読書活動の実態を把握するアンケートを実施したところ、保護者の皆さんは乳幼児期からの読み聞かせや、読書に親しむ機会を与えることが重要という認識をしている事が分かりました。



子ども読書活動推進計画を策定

只見町教育委員会はこれらのアンケート結果を受け、子どもたちが本に出会い、読書に親しみ、読書の楽しさ、すばらしさに気づくとともに、読書を通じて豊かな人間性を育めるような環境づくりを目的とした「只見町子ども読書活動推進計画」を策定しました。

計画の期間を、平成26年度〜平成30年度までの5年間として、①子どもが読書に親しむ機会の充実、②子どもの読書環境の整備・充実、③家庭・学校・地域・行政等の連携の3つの基本方針に基づき取り組んでいきます。

具体的には次のページの取り組みを行っていきます。



▲教育委員会で策定した「子ども読書活動推進計画書」

▲「本を読む」ということには様々なメリットがあります



▲ブックソムリエと一緒に読書を楽しむ小学校の子ども達

1. 家庭における取り組み

保護者が行う子どもへの読み聞かせ等を通してコミュニケーションを図ることで、本から得られる心の豊かな部分を共有し、楽しむことで子どもが本を身近に感じ興味、関心を持ち、読書習慣が確立されるよう保護者への啓発活動に努めます。

また、地元の書店と連携し「ブックスハートプレゼント事業」として、本の贈呈や保護者に対して年代に応じたおすすめ絵本のブックリストを配布します。

2. 保育所における取り組み

保育士や図書ボランティアの読み聞かせにより、絵本にふれあう機会の充実を図るほか、只見学に関する絵本や紙芝居等を利用して子どもが地域に親しみをもてるようにします。「ブックスハートプレゼント事業」として保育所修了時には本を贈呈します。

3. 学校における取り組み

児童生徒が必要に応じて、いつでも読書に親しめるようにブックソムリエ(愛称)として人材を配置します。ブックソムリエは学校図書室等の整備、運営、管理や児童生徒への読書指導の補助業務などを行います。「ブックスハートプレゼント事業」として学校卒業時に本を贈呈します。



▲ブックソムリエ 菅家 成美 さん

4. 地域における取り組み

各地区振興センターの図書室は、保育所や学校との連携を図り、子どもの成長に応じた本を充実し、図書室の利用しやすい環境作りを行います。また、放課後子ども教室や子育てひろば事業の中で、読み聞かせを行います。

5. 支援を必要とする子どもへの取り組み

障がいがあり特別な支援を必要とする子どもも、安心して本を楽しむことが出来るように、障害の状況や発達段階に応じて、紙芝居・拡大写本・録音図書・展示併用本・字幕付きビデオ等の充実を図ります。

4月23日は「子ども読書の日」となっていますが、毎月第3日曜日(家庭の日)には、それぞれの家庭で親子で読書に親しんで頂ければと思います。



▲テープカット後 再開通記念「六十里越まんじゅう」を販売



▲関係者によるテープカット



▲国道252号

春になると国道252号再開通の問い合わせは役場にも毎日あり、多くの方が早くこの道路を通りたいと思っています。皆さんが待ち望んでいる道路なので、今年のように来年もゴールデンウィーク前に再開通して欲しいと思います。

再開通イベントには只見町、魚沼市の関係者などが参加し、昨年は5月15日に再開通となった道路が今年もゴールデンウィーク前の再開通となり、連休中に多くの観光客がこの道路を利用することが出来たことを喜び合いました。

5月1日に国道252号六十里越え道路が再開通し、これを祝して5月22日に新潟県魚沼市「道の駅 いりひろせ」で再開通イベントが行われました。

5月1日 再開通

国道252号

再開通イベント



▲熱心に参加者に話される小泉さん

「農家所得倍増論」と題して

小泉武夫さん 只見で講演会

発酵学、食文化研究の第一人者で東京農大名誉教授の小泉武夫さんの「移動塾 天下無敵の食談義」第4回講演会が季の郷湯ら里を会場に5月10日に開催されました。福島民報社の主催で講演会には町内外から150名の方が参加されました。

れられ、アドバイスなどをされており、本当に美味しいものとは何か、どのような商品が売れるのかを先進事例など具体的な話を交えながら説明され、「売れる食べ物5原則」として持論も展開されました。とても分かりやすく楽しい講演会で、参加者は満足げに会場を後にしていました。

「売れる商品5原則」

- ①美味しいものであること。
- ②ものまねではダメ。
- ③物語性があり理論がしっかりしている。
- ④ネーミングが良いこと。
- ⑤履歴現象(食べた瞬間美味しいと刷り込ませる)を発現させること。

ふくしまDOCキャンペーン
只見の魅力を発信

来年開催される国内最大規模の観光キャンペーン「ふくしまディスプレイネーションキャンペーン(DC)」を前にそのプレイベントとして22、23日に観光関係者による現地視察が行われました。

只見では田子倉ダムや湯ら里を視察され、観光関係者は自然の素晴らしさなど只見の魅力に触れ、只見の良さを感じているようでした。



▲田子倉レークビューで景観の素晴らしさを説明

大字只見地区を考える
土地利用計画づくり懇談会

昨年度から只見地区の皆さんと検討を重ねてきた大字只見地区の土地利用計画について、計画書案ができ、多くの方から意見を頂くため5月28日、只見振興センターで懇談会を開催しました。

懇談会の参加者からは、大字只見地区内の活性化には商店街や只見駅周辺を活性化していくことが必要という意見などが出されました。



▲意見交換をする参加者

只見町消防団
不明者早期発見で感謝状

5月23日、只見町で行方不明になった町民を迅速な対応により無事救助したとして、28日南会津警察署長から町消防団に感謝状が贈呈されました。

梅宮署長は「地元を知る消防団だからこそ行方不明者を早期発見できた」と話され感謝状を鈴木消防団長に手渡しました。

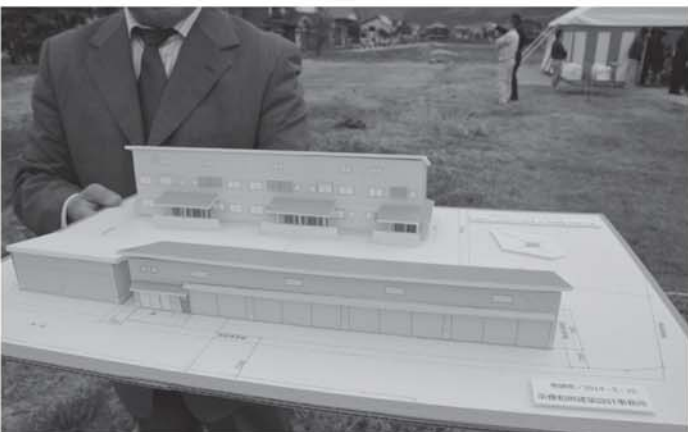


▲南会津警察署長から感謝状を受ける鈴木団長

安全を祈願して
只見の長屋 地鎮祭

5月15日、株式会社コスモメディアルサポートは、只見の長屋新築工事の安全祈願祭を行い、目黒町長はじめ関係者が出席しました。

只見の長屋は、大字只見にある「桜の丘みらい」の隣に建設される建物で、道路沿いに店舗と車庫、その後ろが住宅となり今年の9月末に完成する予定です。



▲只見の長屋の完成予定模型



只見小学校(5月24日)



朝日小学校(5月18日)

3小学校

運動会



明和小学校(5月11日)

春 3地区 振興センター のウォーキング

3地区の振興センターでは、それぞれの地区を歩くウォーキングイベントを企画し実施しました。このウォーキングイベントは小学校の学年行事にもなり、子どもから大人までたくさんの方が参加され、楽しくおしゃべりなどをしながら歩き気持ちの良い汗を流しました。



只見地区(旅行村)



朝日地区(亀岡)



明和地区(梁取)

ブナセンター講座 「田子倉の昔を語る！」



旧田子倉集落出身の方々による座談会「田子倉の昔を語る！」を4月20日(日)に行いました。語り部は、渡部完爾さん、皆川友一さん、皆川幸喜さん、新国道子さん、山岸秀弥さんの5人で、町内を中心に25名の方が参加され、参加者からの質問に答える形で、当時の田子倉の状況と思い出が語られました。

田子倉の産業、歌舞伎、婚姻、冬の暮らし、子どもの頃の遊び、ダム建設時の状況など、話題は多岐にわたりました。ダムに沈む前の田子倉は4~5mもの雪が降り積もる豪雪地帯で、土地が豊かでゼンマイなどの山菜が



たくさん採れ、質の良い糸がとれる養蚕も盛んだったそうです。大きなマスも浅瀬を埋め尽くすように遡上し、沢水をひいた台所にも魚が入ってきたのだとか。捕ったマスを村の中で均等に配分する「まわり組」という制度は、集落の人々の助け合いを伝えています。その他にも、シシ山(クマとり)でクマが怖くて逃がしてしまった笑い話や、小さい頃の思い出話をたくさん聞くことができました。休憩室でのブナセンター講座は初めてでしたが、お茶を飲みながら、笑いがあふれる和やかな講座となりました。

春の自然観察会

今年もゴールデンウィークに2つの観察会を行いました。今年は雪どけが早く春植物の開花状況やブナ林の残雪状況が心配されましたが、只見町の春が感じられる観察会となりました。

5月4日(日)「春植物を愛でる！」

当日は、天候にも恵まれ、22名の方が参加されました。

はじめに楯戸地区の観察林で一面に広がるカタクリのお花畑とブナ林を観察し、次に、黒谷川流域に移動し、フクジュソウの群生地やユビソヤナギ、雪食地形を観察するといった充実した内容となりました。フクジュソウは、花だけでなく、果実も観察することができたほか、様々な花々を見ることができました。



▲黒谷川流域での春植物の観察

5月5日(月・祝)「春のブナ林を歩く！」



▲新緑のブナ林を歩く

「癒しの森」で行われたブナ林の観察会は、参加者12名で、のんびりとブナ林を楽しむことができました。

林内には、まだ雪が残っており、残雪を楽しみながらブナの新緑の中を歩きました。ブナの花や、落ち葉の下に隠れたブナの新芽、交流広場に横たわる寿命を迎えた大きなブナの倒木など、様々なブナの姿を観察することができました。

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師

榎田 啓十



「熱中症からからだを守るろう！」

みなさんこんにちは！

4月から朝日診療所で勤務をしております、榎田啓十（えのきだ けいと）と申します。簡単に自己紹介をしますと、出身は東京都、神奈川県、川島の東海大学で、学生時代はバンドをしております。趣味は音楽鑑賞、ギター演奏です。小児科医を目指し、日々研鑽を行っております。至らないことも多々あるとは思いますが、町民の皆様への健康維持に貢献できるように努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

さて、今回は熱中症について少しお話ししたいと思えます。私たちの身体の中では産熱と放熱のバランスがとれています。産熱とは身体が熱をつくる働きで、放熱とは身体の外に熱を逃がす働きをいいます。このバランスが崩れたとき、熱中症が起ります。熱中症は、夏の暑い日射の下で激しい運動や作業をする時だけでなく、暑さに慣れない梅雨明けの時期にも起こります。また屋外だけでなく、高温多湿の室内で過ごしている時にもみられます。症状が深刻な時には命に関わることもありま

すが、正しい知識があれば予防することが出来ます。まず、熱中症の症状にはどういったものがあるでしょうか？めまい、大量の発汗、筋肉痛、筋肉のけいれん（こむら返り）、頭痛、嘔吐、倦怠感（身体のだるさ）、集中力の低下、意識障害（応答が鈍い、言動がおかしい、意識がない）。これらすべてが熱中症として起こりうる症状です。応急処置としては涼しい場所（風通しの良い木陰やクーラーの効いた室内）への移動、衣服をゆるめ、身体を冷やす。塩分を含んだ水分補給があります。（水ではなく、必ず塩分が入った水分を取ることが大切です）応急処置で改善しない場合や意識がはっきりしない場合、自分ではつきりしない場合、水分や塩分が取れない場合はすぐに医療機関に連れていきましよう。

熱中症を予防するためには、暑いときには無理をしないこと、こまめに塩分が入った水分をとることが大切です。正しい知識を身につけ、熱中症から身体を守りましよう！

地域おこし協力隊として vol.2 地域おこし協力隊 末谷 広大

「暖かな空気」

5月に入り、周囲に残っていたわずかな雪でさえもすっかり解け、暖かい日が続いています。

只見高校へ山村教育留学生として入学した一年生の生徒たちは、新しい友達や頼りになる先輩たちができ、すっかり寮生活、下宿生活に慣れた様子で、夕食の後に一緒に外で自主トレーニングに励んでいる姿をよく目にします。3年生に至っては早い人はもうすぐ部活動から引退し、いよいよ進学や就職といった言葉が頭に浮かぶ時期になってきたのではないで

しょうか。「将来」という言葉や、〇〇系に行きたいと思っているなんて言葉を耳にするようになりました。時間というものだけはどんな人間であれ平等です。また、自分の行動を決めるのも自分の意思であり、それに基づいて行動した結果の責任を負うのもまた自分です。勉強、運動、遊びなどバランスよく生活に取り入れ、まだ早いかもしれませんが、進路を達成できるように毎日を過ごしてほしいです。

只見の歴史を探る②

只見町最古の土器



▲写真1:小川上野遺跡から出土した縄文時代中期の土器

只見町で人が営みを始めたのは、旧石器時代からと考えられています。旧石器時代の石器が、塩沢わらび園付近の猿倉遺跡や蒲生岳の山ろくにある蒲生A遺跡から発見されているからです。また、土器が一般的に使われ始めたのは縄文時代です。縄文時代は、およそ一万三千年前から二千五百年前まで続き、草創期、早期、前期、中期、後期、晩期に区分されています。では、只見町で確認されている土器は、いったいどの時代のものなのでしょう。

土器は、標識遺跡ひょうしきという時代の区分に重要な役割を果たした遺跡を基準として、その時代の遺構（柱穴など）や遺物（土器など）と照らし合わせて、およその年代を決めます。只見町の土器の年代を決定するには、他県や他市町村から発見された

土器を基準に行います。

これまで只見町でもっとも古い土器は、縄文時代中期（四千年〜五千年前）とされてきました。この時期の土器が確認されているのは、大倉の窪田遺跡、館ノ川遺跡、小川上野遺跡（写真1）、深沢遺跡、小林外出遺跡などです。窪田遺跡は、縄文時代晩期から弥生時代中期の土器が中心ですが、縄文時代中期の大木9式（宮城県七ヶ浜町大木貝塚）という形式の土器があり、これが一番古い土器でした。館ノ川遺跡、小川上野遺跡、深沢遺跡、小林外出遺跡でも、縄文時代中期の大木8式という形式の土器が確認されています。

しかし、只見町には縄文時代中期よりも古い土器はないのでしょうか。実は数は少ないですが、最古の土器が小林の七十苺遺跡で発見されました（写真2、3）。これは平成二十二年（2010年）に、伊南川の河川改修工事による発掘調査でわかったものです。写真2は、諸磯C式（神奈川県三浦市諸磯貝塚）と同じ形式と考えられる土器です。小さな破片ですが、たくさんの線で区画され、コブ状にペタペタ貼り付けた文様をしているのが特徴です。写真3は、線で区画して、連続した山形の文様をしている土器です。同様の形式は不明ですが、大木5式期と考えられます。



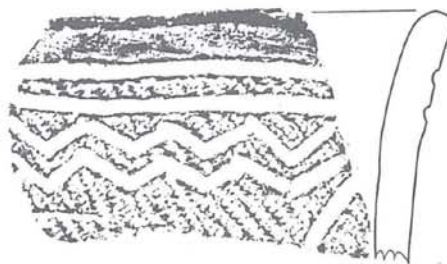
▲写真2:七十苺遺跡から出土した縄文時代前期の土器（諸磯C式土器）



▲写真3:七十苺遺跡から出土した縄文時代前期の土器（大木5式期土器）

会津美里町の胃宮西遺跡いづみさとみやまにというところから非常によく似た土器が発見されています（図1）。これらの土器は、それぞれ縄文時代前期（五千〜六千年前）に位置付けられ、現在のところ町内で最も古い土器となります。

只見町では、これまで旧石器時代から縄文時代中期までの土器は発見されておらず、空白の時期だったのですが、その時代に人が住んでいなかったわけではなく、単にその時代の遺物の発見例が少ないだけではないでしょう。これからの発見が期待されます。



▲図1:会津美里町胃宮西遺跡から出土した土器

町民文芸



只見短歌会

四月詠草

大塚栄一

指導

残雪が二尺もあるとふ山峡の客に水仙切りて持たすも

古川 英子

雪消えの一際遅きわが庭に水仙クロッカス漸く芽ぶく

馬場 八智

一キロにも満たずに生れし女の孫も危ふき乗り越え成人式迎ふ

渡部ゆき子

春日射し桜の開花背に受けて大根干しに今日もいそしむ

関谷登美子

鶴賀城の土産と桜の花びらを病みある母の手のひらに載す

新国由紀子

通りにて遊べる子らの足音の軽くなりつつ春は来にけり

小倉キミ子

連休に施設より帰る子の布団日当りの良きベランダに干す

五十嵐夏美

風邪に臥すわが枕辺に幼孫絵本逆さに読みくれるらし

目黒 富子

春早き水仙の花我が家の前の道辺に盛りと咲きぬ

渡部ヨリ子

二階まで水害に及びし独り居の友を呼びきて日々を過ごすも

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

五月例会

目黒十一

指導

コヒガンの名を得しバスの桜狩
修行僧土産を買うか桜もち

信

取り残る路の墓より力受く
若夫婦へ種時桜満開に

一穂

かたくりの咲いて乱るる部落跡
湧き水の祠の上の八重桜

邦 男

六地藏濡れつつ受くる花衣
摘みて来し四つ葉のクローバーの本

洋子

残る鴨十指にあまる只見ダム
鉢の梅香りを満たす仏の間

邦 夫

さめやらぬ夢や峠に木の根明く
まなうらにみるみるふゆる山若葉

礼

トロッコの列車の風や田植時
初夏やエプロンのまま遠く来て

順 子

村絵図と変わらぬ山河五月来ぬ
隠し田と言うもかなしき夏の雨

恒 夫

路のお伴せの香のつと流れ
春の店青年軽くレジを打つ

リウコ

青空やバラ馥郁と香を放つ
風立ちて玉解く芭蕉水ひかる

吉 児

都

仏壇の中明るくて春彼岸
入学式注文つけてシャッターおす

平成26年度 国家公務員「税務職員採用試験」 (高校卒業程度)のお知らせ

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる税務職員を募集しています。

○受験資格

- 1 平成26年4月1日において、高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して3年を経過していない者及び平成27年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- 2 人事院が1に掲げる者と同等の資格があると認める者

○受験申込受付期間

- ・インターネット:平成26年6月23日(月)～7月2日(水)まで
- ・郵送又は持参:平成26年6月23日(月)～6月26日(木)まで

○受験申込方法

受験申込みは原則インターネット申込みとする。
郵送又は持参用受験申込書の請求は、最寄りの税務署、仙台国税局人事第二課又は人事院東北事務局へ行う。

○第1次試験日

平成26年9月7日(日)

○試験に関するお問い合わせ先

仙台国税局人事第二課試験研修係 022-263-1111 内線3236
人事院東北事務局 022-221-2022

—事業主の皆さんへ— 労働保険の年度更新等のお知らせ

平成26年度の労働保険の年度更新の申告期限は
7月10日です。

期限までに、最寄りの銀行、郵便局、労働基準監督署、福島労働局において手続きをされますようお願いいたします。

・労働保険の年度更新は電子申請を、労働保険料等の納付は口座振替をご利用ください。

福島労働局 総務部 労働保険徴収室
☎024-536-4607

6月は不法投棄防止強調月間です

福島県では毎年6月を不法投棄防止強調月間と定めています。
「不法投棄かな?」と思ったら下記まで通報をお願いします。

○通報先 環境整備課 生活環境係 ☎82-5280

お知 らせ

Information

電話番号

総合政策課 地域振興係 財政係	☎82-5220
総務課 総務係 職員係	☎82-5210 ☎82-5050
町民生活課 税務係 町民係	☎82-5110 ☎82-5100
保健福祉課 保健係 福祉係	☎84-7005 ☎84-7010
農林振興課 農政係 林政係	☎82-5230
観光商工課 観光係 商工係	☎82-5240
環境整備課 地域整備係 生活環境係	☎82-5270 ☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎84-2221 ☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

税

今月の納期

6月25日までに

納めましょう

- 町県民税(1期)
- 水道使用料(1期)
- 農集排使用料(6月分)

町長の手帳

町長スケジュール (5月分)

- 2日 極上の会津プロジェクト協議会総会・決起大会(会津若松市)
- 7日 只見町議会全員協議会
- 8日 南会津地方町村会総会、会津高原ふるさと推進協議会理事会、南会津地方土地開発公社理事会、会津総合開発協議会南会津地方部会、南会津地方林業協会総会、南会津地方緑化推進委員会、南会津防犯協会連合会総会、南会津地方町村連絡会懇談会(南会津町)
- 9日 観光まちづくり協会理事会、只見町消防団消防ポンプ操法結団式
- 10日 明和小学校運動会
- 11日 要害山開山式
- 13日 朝礼、庁議、軽水力発電機納入セレモニー
- 14日 会津総合開発協議会役員会(会津若松市)
- 15日 只見町賃貸住宅新築安全祈願祭JR只見線開業50周年記念事業実行委員会、JR只見線利用促進実行委員会
- 16日 季の郷湯ら里取締役会
- 17日 朝日小学校運動会
- 19日 会津ただみ振興公社株主総会、観光まちづくり協会総会
- 20日 只見町議会5月会議
- 21日 プレDC全国宣伝販売促進会議、歓迎レセプション(郡山市)
- 22日 国道252号六十里越雪わり街道再開通式典(魚沼市)、プレDCエクスカッション・ミニレセプション
- 23日 プレDC見送り、南会津会評議員会・理事会(南会津町)、退職職員送別会並びに職員歓迎会
- 24日 観光庁長官特別講演会(会津若松市)
- 26日 会津縦貫南道路整備促進期成同盟会総会、会津総合開発協議会定例総会、あいづふるさと市町村圏協議会総会、会津・野岩鉄道利用促進協議会総会(会津若松市)
- 27日 福島県森林林業緑化協会監事会・役員会(福島市)
- 28日 県議会企画環境委員会調査(金山町)
- 29日 奥会津5町村活性化協議会監査、民生児童委員協議会意見交換会・懇談会
- 30日 滝調整池堆砂対策連絡協議会(金山町)、湯ら里株主総会、NHKラジオ生放送(エコパークの取組み)
- 31日 JA会津みなみ総代会(南会津町)

「布沢集落と宇都宮大学生の交流」

宇都宮大学の学生達が布沢集落を訪れるようになってから5年が経ちます。先日、今年2回目の訪問には約15名の学生達が森林の分校や地元の方の家に泊まり、1日目は田植えと夜にバーベキューでの交流会、2日目は地区の普請に参加しました。学生達は作業に不慣れですが、交流する事で地元の方の心は華やぎます。この交流は、大学のゼミ活動を布沢でおこなったことが発端ですが、今はゼミから離れ学生達が自主的に集まる活動として続いています。卒業して社会人になった先輩達も顔を出し、それが学生達の絆を一層強くしているようです。

過疎と高齢化が進む山村に対して、学生達の関心は高いですが、理屈っぽさや気負うところもなく、素直な若者らしさが地元の方と良い信頼関係を築きつつあります。

学生達がこうして喜んで来てくれるのは、布沢集落を好きになってくれたからです。過疎集落の否定的な側面にとらわれず、地区の人達のやさしさや温かさ、そしてそこに暮らす人々の強かさ、自然・風景のたたくまいに好意を抱いてくれています。学生達にとって、ここでの活動が自分の将来の仕事や社会を考える大切な時間と経験になり、集落にとってもこの交流が元気の源になってくれればと思います。

経済的に余裕のない学生達にとって、自由闊達な活動がこれからも継続出来るように活動拠点の整備をしたいと考えます。

※交流の様子は7月号の広報ただみで紹介します。

只見町長 目黒 吉久



おおつか めい
大束 芽生さん(梁取)



やまうち たまき
山内 珠樹くん(梁取)



おおたけ りりこ
大竹 凜々子さん(只見)



いからし ゆうや
五十嵐 雄哉くん(蒲生)

虫
歯
い
の
子



(5月25日)
3歳児健診

町民の消息

(5月1日～5月31日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

飯塚雄飛(男/翼・まさみ)只見
菅家沙月(女/大和・香)只見

■ご結婚おめでとうございます

南会津町 星 正典♡只見 新国 万寿美

■おくやみ申し上げます

目黒小町	89歳	只見
目黒ミト	92歳	塩ノ岐
三瓶豊	94歳	大倉
新國埒也	93歳	只見
平田幸四郎	82歳	黒谷
五十嵐嘉門	85歳	只見
三瓶シズ工	90歳	大倉
菅家千春	87歳	黒谷

人のうごき

平成26年5月1日現在

人口 4,582(+ 4)
男 2,224(+ 3)
女 2,358(+ 1)
世帯数 1,813(+ 15)
高齢化率 43.1%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 27 転出 18 出生 1 死亡 6

▽5月の下旬から季節外れの暑さが続いています。ついこの間までは、気温は10度前後でしたが、今や職場の温度計は30度を超え、夏本番のような暑さになってしまいました。役場裏には雪まつりの為に集められた雪が6月2日現在まだ残っています。暑さが続けばここ数日のうちに全て溶けてしまいそうです。今年には冷夏になるという予報だったので、今のこの暑さが一時的なもので、いくらか涼しくなってくれる事を願います。

(吉津)

あとがき

只見振興センター
三瓶 美由紀

只見振興センター
図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

★おこだでませんように



【作:くすのきしげのり/
絵:石井聖岳(小学館)】

「ぼくは、いつでもおこられる。家でも学校でも…。休み時間に、友だちがなまはずれにするからなぐったら、先生にしかられた」いつも誤解されて損ばかりしている少年が、七夕さ

まの短冊に書いた願いごとは…?

感情のコントロールが下手な子、ついつい怒ってしまうおかあさん、男の子が理解できない女の子の為に…。子ども達の気持ちを代弁してくれるステキな絵本です。

★アンのゆりかご 村岡花子の生涯



【村岡恵理/著
(マガジンハウス)】

戦争へと向かう不穏な時勢に、翻訳家・村岡花子は、カナダ人宣教師から友情の証として一冊の本を贈られる。後年『赤毛のアン』のタイトルで世代を超えて愛されることになる名作と花子の運

命的な出会いであった。多くの人に明日への希望がわく物語を届けたい——。その想いを胸に、空襲のときは風呂敷に原書と原稿を包んで逃げた。情熱に満ちた生涯を孫娘が描く、心温まる評伝。

現在放送中のNHKテレビ小説『花子とアン』の原作本です。

☆その他にも図書室にはたくさんの本が置いてあります。リクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



カジカガエル (学名: *Buergeria buergeri*)

[アオガエル科 カジカガエル属]



夏、川から「ルルルルルル フィフィフィ」という涼しげな音色が聞こえてきます。これはカジカガエルの鳴き声です。カジカガエルは昔から美しい声で知られており、「河鹿」として夏の季語にもなっています。魚のカジカとは関係がないそうです。

カジカガエルは、本州、四国、九州に分布しており、オスの体長が4.5cm、メスはオスよりずいぶん大きく8cmほどにもなります。周囲の環境によって色が変わりますが、全体に灰白色から黒褐色で、脚に太い黒縞があり、頭部から背に赤味が入る場合がありますが、石のよう

な色合いをしているため見つけるのは困難です。トノサマガエルやアマガエルと比べると平たい体型で、指に吸盤が発達しており(写真右上枠内)、岩などにしっかりと貼り付くことができます。

只見町では、只見川や伊南川、それらの支流である叶津川や蒲生川、布沢川など広く分布しています。6月から8月に繁殖期を迎え、町内のあちこちでこのカエルの美しい鳴き声を聞くことができます。岩や石の下の砂利に産卵し、オタマジャクシは8月頃に変態して上陸します。繁殖期以外は、川沿いの丘陵地から山地で暮らしており、森林の中で見つけることもあります。

〈企画展示〉

「絶滅危惧種 ヒメサユリのすべて」
6月30日(月)まで開催

プナセンター講座

6月21日(土) 午後1時30分～午後3時
「只見地域のヒメサユリの分布と生態」
講師:大曾根陽子さん(首都大学東京・客員研究員)

〈自然観察会〉

6月22日(日)午前10時～12時(集合9時30分)
「開花中のヒメサユリの自生地を訪ねる」場所:只見町塩沢地区(予定)

※観察会は予約が必要です。お申込み・問い合わせはプナセンターまで 0241-72-8355

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

珍しい桜が 咲きました!!

一見すると良く分からないかもしれませんが、実はこの桜、一本の木から2種類の桜の花が咲いています。この桜は黒谷の八久保基さん宅の桜で、2種類の桜が咲く理由は接ぎ木をしているからです。お話を伺ったところ、接ぎ木をして100年くらいは経っているのではないかと、同じ時期に花が綺麗に咲くのは珍しいそうです。

